

1. アンケート調査の概要

■今年度のアンケート方法について

- 昨年度に引き続き、2種類のアンケート調査を実施。
- 既存の事故危険区間や新たな事故危険区間に関するアンケートは、ホームページのみで実施。

① 既存の事故危険区間や新たな事故危険区間に関するアンケート



② 事故対策実施区間の評価アンケート



1. アンケート調査の概要

■アンケートの媒体

調査種別	媒体	実施内容	実施期間
①既存の事故危険区間 や新たな事故危険区 間に関するアンケート	ホーム ページ	・事務所HP「事故ゼロプラン道路利用者アンケート」を改良の上、継続	昨年度～継続中
	ハガキ	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟県内の市町村役場、国道事務所(出張所)、および道の駅への留め置きを実施 ・その他、運転免許センター、商業施設への留め置きを実施 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟県内の主要な道の駅および免許センターでインタビュー形式によるアンケートを実施。 ・道の駅: 道の駅神林、道の駅能生 ・免許センター: 新潟県運転免許センター、運転免許センター長岡支所 	今年度未実施 (平成28年12月20日以降 回収分) インタビューアンケート 平成29年12月24日(日) 平成29年12月26日(火)
②事故対策実施区間の 評価アンケート	Web	・事故対策実施区間11区間の評価について、新潟県在住のWebモニターを対象として、インターネットアンケート調査を実施	平成30年1月22日～ 平成30年1月26日



新潟県運転免許センター



道の駅神林



道の駅能生

2. 既存の事故危険区間や新たな事故危険区間に関するアンケート

■ 調査概要

- ホームページアンケートとハガキアンケート(留め置き等、道の駅インタビュー調査)を実施
- 既存の事故危険区間や新たな事故危険区間に関するアンケートを実施

■ 設問構成

問1. 事故対策未実施区間について 交通事故の危険を感じる区間、早く対策を行った方が良いと思う区間を教えてください。
問2. 事故危険区間以外の区間について 交通事故の危険を感じる場所とその理由を教えてください。
問3. 事故ゼロプランという取り組みを知っていましたか？ ①認知度、②認知媒体
問4. その他、交通安全対策に関するご意見・ご要望などがございましたら、ご自由にご記入ください。
問5. 属性 ①年齢、②性別、③住所、④利用交通手段、⑤自動車の利用頻度、⑥自動車の利用目的

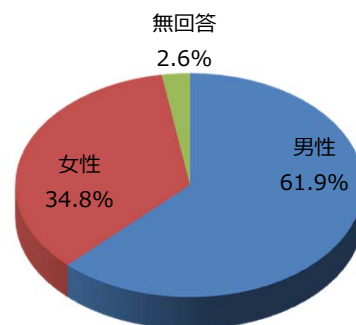
■ アンケートの回答数

調査種別	H28年度	H29年度
ホームページアンケート	15件	24件
ハガキアンケート	455件	131件
ハガキアンケート(留め置き等)	77件	3件
道の駅インタビュー調査	378件	128件
合計	470件	155件

■ アンケート回答者の属性

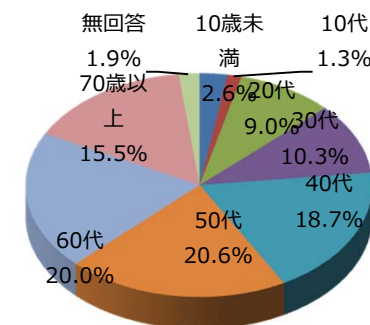
■ 性別

男性が62%、女性が35%



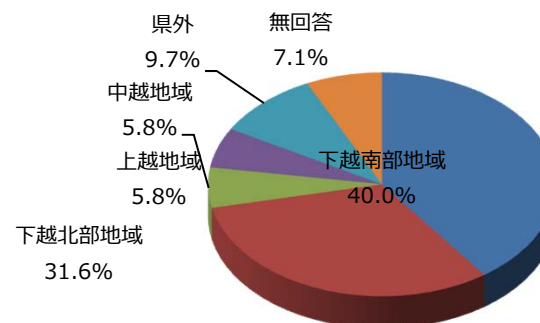
■ 年齢

40～60代が多い



■ 居住地

下越北部・南部地域が多い

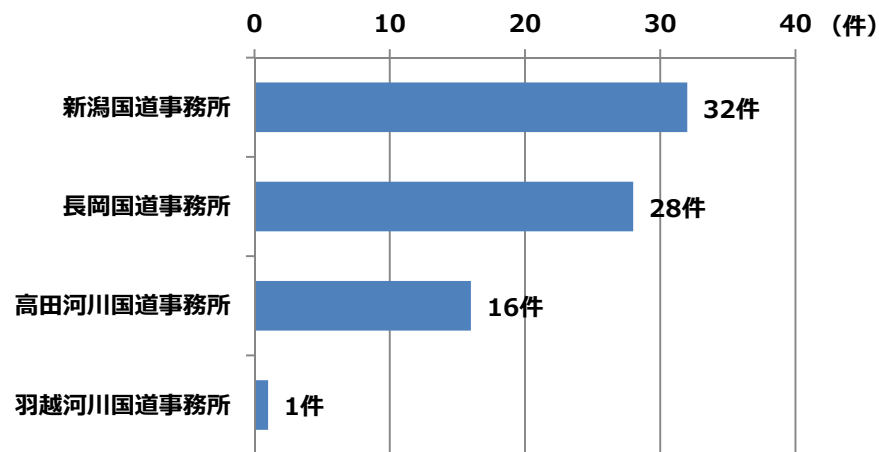


2. 既存の事故危険区間や新たな事故危険区間に関するアンケート

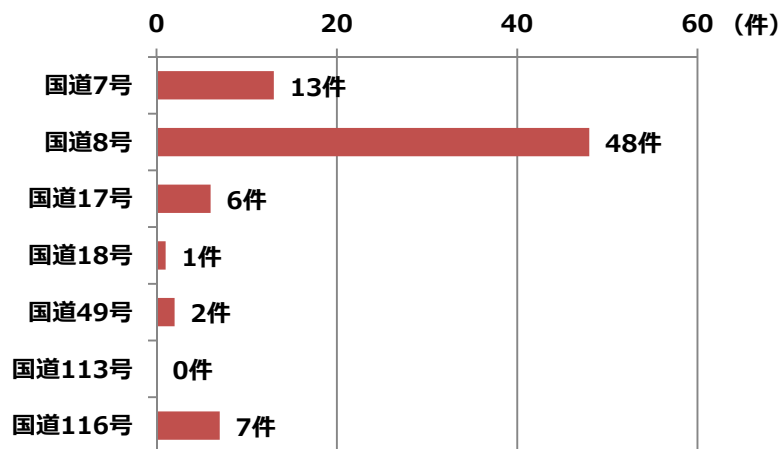
■ 未対策実施区間における対策要望について

- 対策要望が最も多かった事務所は新潟国道事務所管内の事故危険区間であった。
- 路線別では、国道8号の事故危険区間に対する要望が最も多かった。

■ 事務所別の対策要望件数



■ 路線別の対策要望件数



■ 対策要望の多かった区間

順位	区間	路線	区間名	市区町村	合計
1	19	8	女池IC	新潟市中央区	3
1	51	116	田島交差点～田島入口交差点	新潟市西区	3
1	236	7	大夫興野IC～蓮野IC	聖籠町	3
1	92	8	新町1丁目交差点～愛宕2丁目	長岡市	3
1	273	8	高瀬町入口交差点	長岡市	3
1	126	17	川崎南交差点	長岡市	3
1	133	8	下源入交差点	上越市	3
8	4	7	東港線十字路交差点	新潟市中央区	2
8	18	8	桜木IC	新潟市中央区	2
8	205	8	鳥屋野4丁目～鳥屋野3丁目	新潟市中央区	2
8	331	49	鶺ノ子IC下り線オフランプ	新潟市江南区	2
8	54	116	小針線山田交差点～平成大橋西詰交差点 ～平成大橋東詰交差点～鳥屋野交差点	新潟市西区・中央区	2
8	277	116	燕市吉田若生町	燕市	2
8	83	8	千把野交差点	三条市	2
8	86	8	上新田南交差点～中之島流通団地交差点	見附市	2
8	91	8	川崎五丁目～愛宕交差点	長岡市	2
8	94	8	蓮瀧交差点	長岡市	2
8	285	8	土合	柏崎市	2
8	107	17	三国トンネル	湯沢町	2
8	134	8	下門前交差点～関川大橋東詰交差点	上越市	2
8	136	8	藤崎集落～能生大橋西詰交差点	糸魚川市	2

2. 既存の事故危険区間や新たな事故危険区間に関するアンケート

■ 事故危険区間のアンケート新規抽出

- 事故危険区間以外で、交通事故の危険性の高い区間について回答して頂いた。
- 今年度のアンケートによる新規事故危険区間はゼロとなった。

■ アンケートによる事故危険区間の新規抽出について

Q. 事故危険区間以外に、交通事故の危険性が高いと思われる区間とその理由を記入してください。

自由回答形式で答えてもらい、
複数件以上の回答を頂いた箇所を新規箇所として抽出

3区間

- ・隣接区間の統合
- ・管理事務所等の意見照会

H29年度アンケート新規抽出区間

0区間

■ 参考: アンケートによる新規抽出区間数の経緯

H28年度 新規抽出区間 / アンケート総数
0区間 / 470件

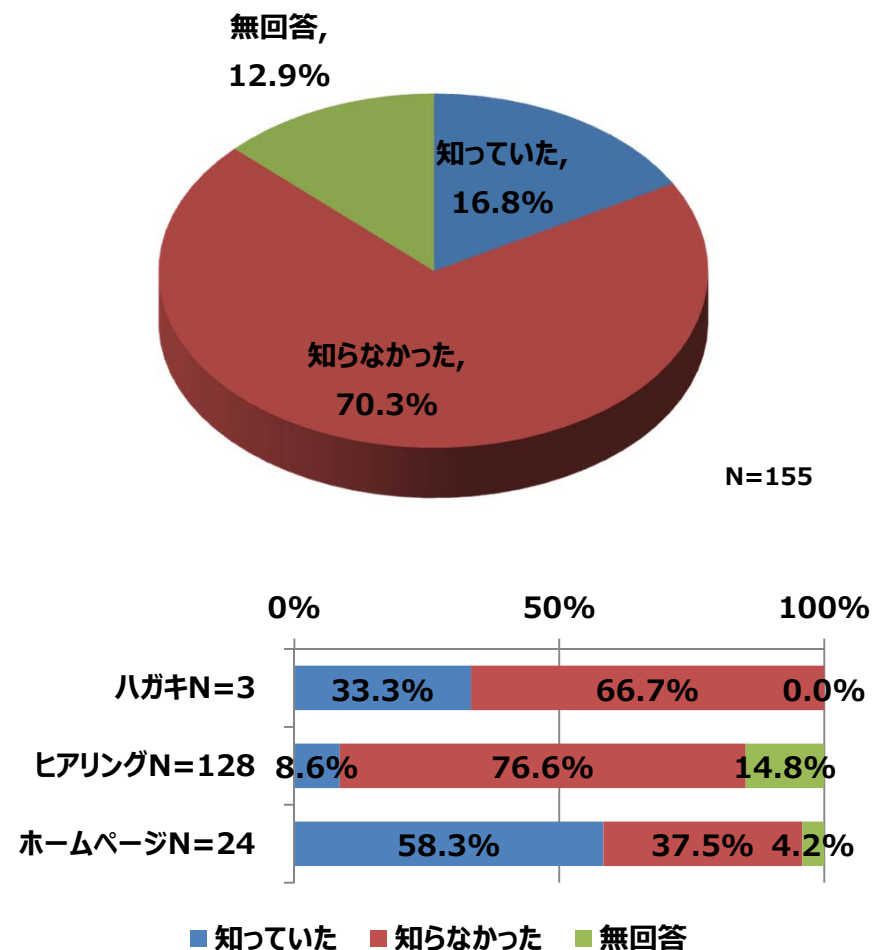
H29年度 新規抽出区間 / アンケート総数
0区間 / 155件

2. 既存の事故危険区間や新たな事故危険区間に関するアンケート

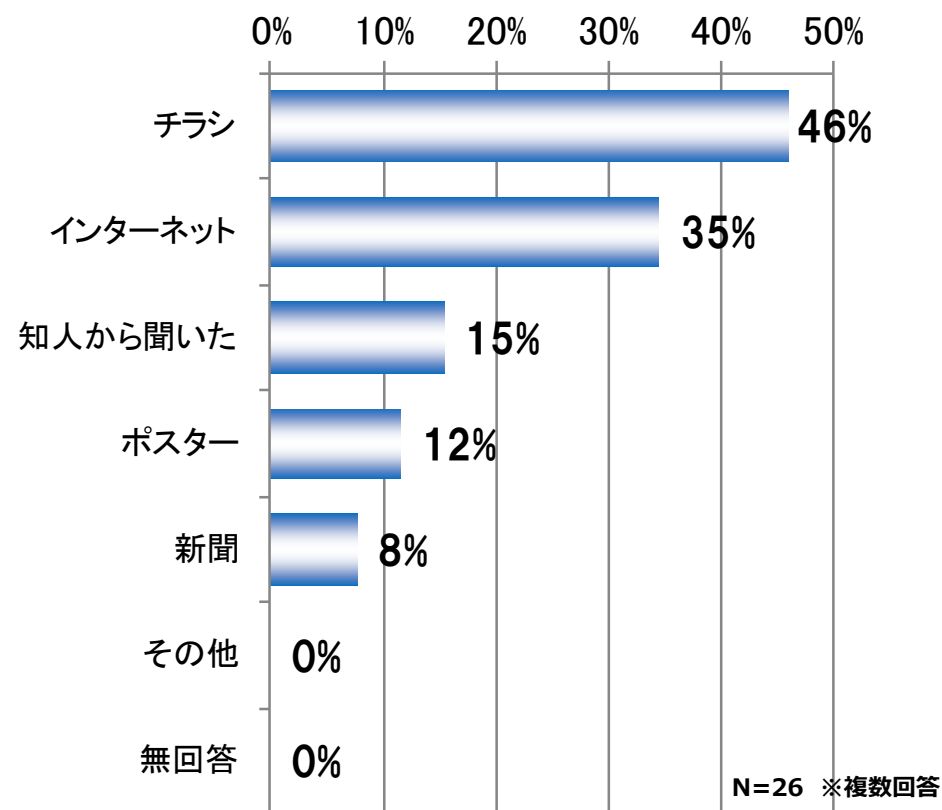
■ 事故ゼロプランの認知度・認知媒体

- 事故ゼロプランの認知度は全体で17%。
- 調査種別毎の認知度は、ハガキアンケートで33%、インタビューで9%、ホームページで58%。
- 事故ゼロプランの認知媒体は、チラシが最も多く、次いでインターネット、知人から聞いたの順。

■ 事故ゼロプランの認知度



■ 事故ゼロプランの認知媒体



3. 事故対策実施区間の評価アンケート

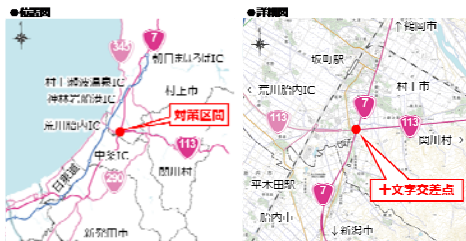
■ 調査概要

- 新潟県在住のWebモニターに対し、対策箇所を1ヶ月に1回以上利用する方を抽出
- 対策内容を認知しているか把握し、事故対策箇所の評価に関するアンケートを実施

新潟県在住の
Webモニターを対象

事前調査

Q.対象区間の通行頻度をお聞かしてください。



1. ほぼ毎日
2. 週に4~5日程度
3. 週に数回程度
4. 1ヶ月に数回程度
5. 年に数回程度
6. ほとんど利用しない・利用したことがない

本調査

Q.下図に示すような対策を実施しました。ご存知でしたか？



- 事故発生状況
- 当該交差点は、日東道 荒川胎内ICのアクセス路となっている。
 - 速度超過がしやすく、交差点手前で減速する前方車両への対応が遅れ、追突事故が発生。
- 対策内容
- 速度抑制策および注意喚起として、
・ドットラインを設置
・路面標示「追突注意」を設置

対策箇所や対策内容、効果、写真等を掲載

1. 知っていた

2. 知らなかった

Q.対策によって注意するようになったこと
(自分の運転の変化)

Q.対策によって減った
と思う事故危険事象
(他人の運転の変化)

Q.事故対策の評価

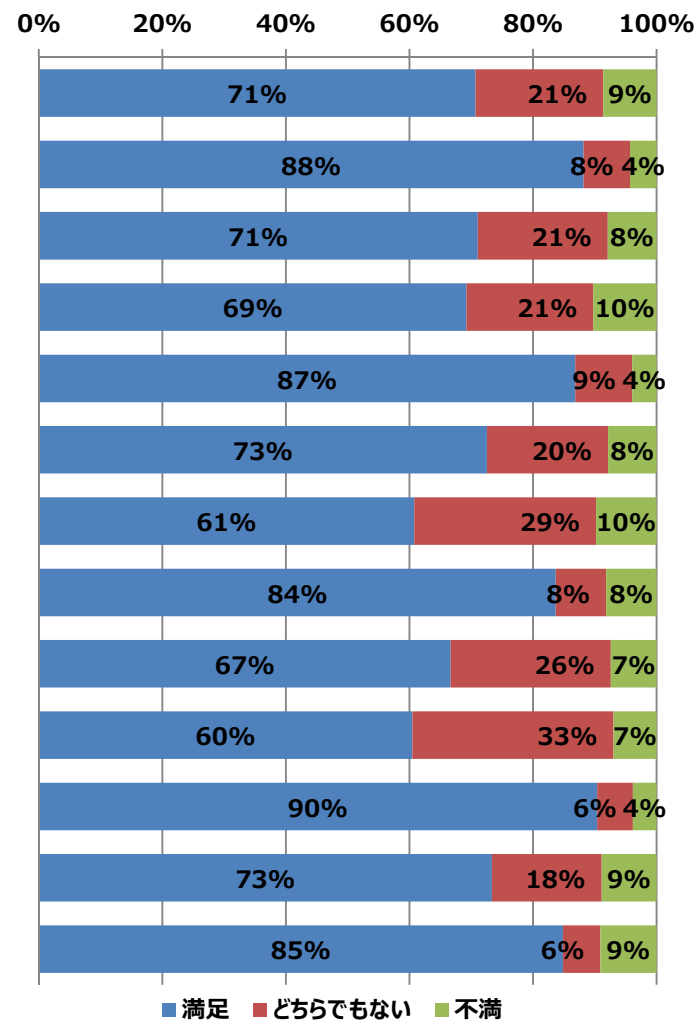
Q.自由意見

3. 事故対策実施区間の評価アンケート

■ 対策実施済み区間における評価について

- 評価を行った全ての区間で、「満足」という回答が6割以上という回答が得られている。

区間番号	担当事務所	路線名	市区町村名	対象区間(地先名)	対策完了年度	対策内容
272	新国	7	村上市	十文字交差点	H28	ドットライン、路面標示
328	新国	7	新発田市	舟入(三)交差点	H28	新発田拡幅
109	長国	17	湯沢町	八木沢トンネル	H28	ドットライン、注意喚起路面標示
110	長国	17	湯沢町	芝原トンネル	H28	ドットライン、注意喚起路面標示
273	長国	8	長岡市	高瀬町入口交差点	H28	交差点改良(土地改良区)
295	長国	116	出雲崎町	川西交差点	H28	注意喚起路面標示
314	長国	17	南魚沼市	石打観光口交差点	H28	ドットライン、注意喚起看板
317	長国	116	出雲崎町	小木番場交差点	H28	ドットライン、注意喚起路面標示
322	長国	17	南魚沼市	塩沢道路ステーション前交差点	H28	注意喚起路面標示
136	高田	8	糸魚川市	藤崎集落～能生大橋西詰交差点	H28	ドットライン、減速指導標示、追突注意路面標示
76	羽越	7	村上市	勝木駅前交差点	H28	線形改良、右折車線設置、ドットライン



※対象区間の日常的利用者(1ヶ月に1回以上利用)のうち、事故対策を知っていた方を対象